

2025年度 大学院入学試験問題【I期】

国際日本学研究所 国際日本学専攻 (博士前期課程)

科目：専門科目【ポップカルチャー研究領域】

注意) 解答用紙は、指定された用紙を使用しなさい。その際、問題番号を明記すること。

(例 I-(1)、II-(2))

I. 論述問題

次の2題のうち1題を選択して、論述しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 日本では主に1990年代以降、マンガを原作にして、必ずしも子供向けではない実写映画やテレビドラマが頻繁に製作されている。大ヒットした事例もあれば、ファンの批判を呼んだ事例もあり、また、原作マンガ家と製作側との間で生じたトラブルが注目された事例もあった。その、実写映画化やテレビドラマ化の、現在にいたる約30年間の潮流の移り変わりを、象徴的と考えられる事例の作品名を具体的に挙げながら、ターゲット層との関わりも含めて、歴史的に論じなさい。
- (2) 日本では、首都である東京が大規模に破壊される様子を描いたり、大規模な破壊を被った後を舞台にしたりするマンガ・アニメ・ゲーム・特撮作品が、1950年代から現在にいたる約70年間にわたって、数多くつくられてきた。そうした作品群を見わたすと、破壊をもたらす要因や主体、破壊が描かれる都内の箇所、破壊に直面した人々や社会の対応、復興後の東京の描かれ方など、さまざまな側面にわたって、年代とともに移り変わった部分もあれば、変わらず反復されている部分もある。その歴史や潮流を、象徴的と考えられる事例の作品名とその年代を具体的に挙げながら論じなさい。

II. 解説問題

次の(1)～(4)の中から2つを選んで、解説しなさい。(字数の制限はありません。)

- (1) 伊藤潤二
- (2) 「プリキュア」シリーズ
- (3) ゲーム「ときめきメモリアル」シリーズ
- (4) 「月刊コロコロコミック」